

水道局の仕事

～水道局ではこんなことをしています～

水道局には
いろいろな仕事
があります。
どんな仕事があるのか
見てみましょう！

安全でおいしい
水づくりのために



せつびや機械が故障しないように
定期的にそうじや点検をします。

水を安定して
届けるために



水道水がご家庭に届くまで24時間、
一日も休まず見守っています。

安心して水を
使ってもらうために



すいげん
水源からじゃ口まで、いろいろな
ところで水質けんさをしています。

事故が起こった
時のために



24時間いつでも工事ができる
ようにしています。

水道のことを
知ってもらうために



いろいろな水道の相談や申込み
を受け付けています。

備えましょう! 災害時の飲み水

いつ災害がくるかわかりません。大きな災害が発生した場合
には、ライフラインの復旧が遅くなることも予想されます。

ご家庭でも1人1日3リットルを目安に、
3日分の水を備えておきましょう。



Q5

大きな災害に備えておく飲み水の量は、1人1日何リットルかな？

こたえ

何リットル
だったかなあ…。



水道はいつからあるの？

大阪の水道の歴史

昔、きれいな水にめぐまれていた大阪では、ほとんどの人が近くの川や井戸の水を使っていました。やがて町がにぎわって人がふえると、きれいな水がだんだんよごれてきました。明治19(1886)年、大阪で「コレラ」という伝染病が大流行し、明治23(1890)年には「新町焼け(今の西区)」と呼ばれる大火事が起こり、たくさんの人々がなくなりました。こうしたことから水道をつかってほしいという声が高まって、明治28(1895)年に大阪市の桜の宮(今の都島区)に水源地(じょう水場)ができました。



その後、大阪の人口がふえて水の量がたりなくなってきたので、大正3(1914)年に「柴島じょう水場(東淀川区)がたん生。昭和32(1957)年には「庭窪じょう水場(守口市)、昭和43(1968)年に「豊野じょう水場(寝屋川市)ができました。今では、3つのじょう水場をあわせると、一日最大243万m³の安全でおいしい水を作りだすことができます。

水道水でうがいをするといい理由

かぜの予防はしているかな？ 予防といえば、手洗いうがい！実は水道水によるうがいがかぜの発しゅう率が40パーセントも低下するんだよ！外から帰ってきたら、必ず水道水でうがいをしておかぜのウィルスをやっつけよう！



うがいの基本は「ぶくぶくうがい」と「ガラガラうがい」だよ！



Q6

大阪市水道局のじょう水場は、一日に最大何万m³の水を作ることができるのかな？

こたえ

3つのじょう水場があるよ！

